

審議会等の会議録

会議の名称	平成28年度第5回座間市市民協働推進会議		
開催日時	平成29年3月22日（水） 午後2時から午後3時30分まで		
開催場所	4-3会議室		
出席者	鈴木和重、小池秀司、山中勝久、大塚吉則、小野田順子、遠藤春海		
事務局	市民部市民協働課 (雨田係長、内田主査、黒沢主事、倉根主事)		
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開	傍聴人数	0人
議題	(1) 答申内容について (2) その他		
資料の名称	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・市民協働の推進に係る調査審議について（諮問） ・答申書（案） 		
会議の内容	1 開会 2 議題 (1) 答申内容について (2) その他		

<p>会議の内容 (会議次第及び 発言要旨等)</p>	<p>◇議題</p> <p>(1) 答申内容について</p> <p>事務局より、配布資料に基づき「市民協働の推進に係る調査審議について（諮問）」に対する答申案を説明し、以下のような意見がありました。</p> <p>○全体を通して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冒頭に全体の要約を入れた方が読みやすいのではないか。 ・第三者が記したような表現は改め、当会議の主体性を明示した方がよい。 <p>○庁内への啓発について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修は、 <p>①大学等の講義を受講</p> <p>②先進的な他の自治体や市民活動団体への職員派遣</p> <p>③職員による職員研修</p> <p>といった方法が例として考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熱意のある職員を育てるため、自主的な勉強会などへの支援制度を定めるのはどうか。 ・職員が自ら施策を提案する形式もよい。協働に関して大事なものは、自分が何ができるか一人ひとりが主張できることである。 <p>○「中間的な機関」の機能強化について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な協働を発展させるためには、中間的な機関が庁内各部署と折衝しやすい状況が望ましい。各部署のそれなりの役職の者が、協働の窓口として配置されるとよいのではないか。その窓口となる職員と「中間的な機関」が、定期的にコミュニケーションを取れる場があるとなおよい。 ・「市民活動団体の設立支援や基盤強化」に焦点を当てた見出しに改めてはどうか。 <p>○座間市民活動サポートセンターの更なる発展的活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の市町村の類似施設は駅から近いケースが多いように思う。その点からすると、座間市民活動サポートセンターは立地が不利なので、対象者を広げるような工夫が欲しい。 ・登録制を実施しているが、登録されていない団体や個人への支援策も
-------------------------------------	--

あるとよい。座間市市民協働推進条例において「多様な協働」を定義した趣旨に沿う活動を展開してほしい。

○本日の議論の結果を受けて、事務局で再び答申案を練り直し、次回会議で提示することとなりました。

(2) その他

平成29年5月頃に次回会議、同6月に答申書手交の予定であることを確認しました。

以上で、会長は議題が終了した旨を述べ、閉会を宣しました。